

一般財団法人秋水美術館  
2021 年度 事業報告書  
対象期間：2021/5/21～2022/5/20

1. 財団組織（2022/5/20 時点）

(1) 理事・監事

役職名	氏名	勤務	備考
代表理事	中井 環	非常勤	リードケミカル株式会社 代表取締役社長
代表理事	浅地 豊	常勤	一般財団法人秋水美術館 館長
理事	中井 敏郎	非常勤	東亜薬品株式会社 代表取締役会長
理事	中井 龍	非常勤	日東メディック株式会社 代表取締役社長
理事	梅田 ひろ美	非常勤	株式会社ユニゾーン 代表取締役会長
理事	河合 隆	非常勤	株式会社北日本新聞社 顧問
理事	馬瀬 大助	非常勤	公益社団法人富山県医師会 会長
理事	中川 美彩緒	非常勤	富山県水墨美術館 元・館長
理事	林 衛	非常勤	林法律事務所代表 弁護士
監事	上村 ゆみ	非常勤	東亜薬品株式会社 常勤監査役
監事	吉川 透	非常勤	吉川会計事務所 公認会計士 税理士

(2) 評議員

役職名	氏名	勤務	備考
評議員	高木 繁雄	非常勤	富山商工会議所 会頭 株式会社北陸銀行 特別参与
評議員	石井 隆一	非常勤	株式会社石井アソシエイツ 代表取締役
評議員	小林 紀男	非常勤	富山日野自動車株式会社 代表取締役会長
評議員	朝日 重剛	非常勤	朝日印刷株式会社 代表取締役会長
評議員	林 晃司	非常勤	林法律事務所 弁護士
評議員	小倉 章史	非常勤	リードケミカル株式会社 常務取締役 兼 管理本部長

(3) 財団役員に関する事項

2021/8/4 開催の 2021 年度第 1 回理事会及び第 1 回評議員会において、理事 4 名、監事 1 名、評議員 3 名の再任及び理事 5 名、監事 1 名、評議員 2 名の就任に関する承認決議を得た。

#### (4) 会議の開催状況

##### ① 理事会

回	実施日	議事	決裁結果
第1回	2021/8/4	1. 第1期事業報告承認の件 2. 決算承認の件 3. 公益財団法人への移行認定の申請に関する件 4. 理事選任の件 5. 監事選任の件 6. 評議員選任の件 7. 定款変更(案)の件 8. 諸規程承認の件 9. 2021年度1回評議員会開催の件	全議案承認
第2回	2021/8/4	1. 代表理事選定の件	全議案承認
第3回	2021/10/12	1. 本理事会の決議の省略の件 2. 今期事業計画の変更の件 3. 美術作品受託契約締結の件 4. 財団規程新設及び評議員会上程の件 5. 2021年度第2回評議員会招集の件	全議案承認 (書面決議)
第4回	2022/5/11	1. 代表理事による職務執行状況の報告の件 2. 2022年度事業計画案 承認の件 3. 2022年度収支予算案 承認の件 4. 2022年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認の件 5. リードケミカル株式会社からの寄付金受入承認の件	全議案承認

##### ② 評議員会

回	期日	議事	決裁の結果
第1回	2021/8/4	1. 2020年度第期決算承認の件 2. 公益財団法人への移行認定の申請に関する件 3. 理事選任の件 4. 監事選任の件 5. 評議員選任の件 6. 定款変更承認の件 7. 諸規程承認の件	全議案承認
第2回	2021/10/20	1. 本評議員会の決議・報告の省略の件 2. 財団規程新設の件 報告事項 3. 今期事業計画の変更の報告の件 4. 美術作品受託契約締結の報告の件	全議案承認 (書面決議)
第3回	2022/5/11	1. 2022年度事業計画案 報告の件 2. 2022年度収支予算案 報告の件 3. 2022年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の報告の件 4. リードケミカル株式会社からの寄付金受入の報告の件	全議案承認

## 2. 財団運営

### (1) 公益認定について

かねてより公益財団法人化を目標とし、内部統制の徹底や公益法人会計基準に則った経理体制の導入整備を進めていたが、環境が整ったため富山県に公益認定申請を申し入れた。2021/12/1(水)開催の富山県公益認定等審議委員会において審議され、同日中に当委員会会長より公益認定の基準に適合すると認めるとの答申がなされた。その後、2022/5/21(土)付で正式に富山県知事より公益財団法人としての認可を得、公益財団法人としての運用を開始している。

## 3. 展覧会事業（館内事業）

### (1) 開催した展覧会

#### ① 第1期 「董寿平と近代日本の水墨画」展

主催 : 一般財団法人秋水美術館

会場 : 一般財団法人秋水美術館 3階鑑賞室

会期 : 2021/7/24(土)～8/19(木) ※8/20(金)～9/26(日)は臨時休館

概要 : 縄文時代から現代に至るまでの長い歴史の中で、日本と中国は人や物の交流を続けながら互いに影響し合い、特に室町期の唐物招来でもたらされた大陸の水墨画は日本の絵画に多大な影響を与え、中世から連綿と続く日本画の根底を成すに至りました。

本展では、当館収蔵品から近現代の中国水墨画界を代表する董寿平の作品を展示するとともに、近代以降の日本の水墨画についても併せて展示し、中国水墨画と日本の水墨画の魅力や違いなどを分かりやすく紹介しました。

展示作品 : 董寿平「大紅梅図」「大墨竹図」、横山大観「雨餘」ほか

#### ② 第2期 A「武士のファッション 印籠と拵の美」展 (2階鑑賞室)

B「至宝の美 -宋・明・清の磁器-」展 (3階鑑賞室)

※二展同時開催

主催 : 一般財団法人秋水美術館

会場 : 一般財団法人秋水美術館

会期 : 2021/10/20(水)～2022/2/20(日)

概要 A : 「武士のファッション 印籠と拵の美」展

鎌倉時代以降、日本の政治の中心的存在であった武士は、南北朝期の「婆娑羅」や室町後期から江戸初期にかけての「傾奇者」といった独自の気風と美意識が、文化・芸術に深く影響をもたらしました。

本展ではそれらの時代の武士のファッションにスポットを当て、江戸期の工芸技術の結晶である美しい印籠コレクションを中心に、刀剣・刀装具を合わせてご紹介しました。

展示作品： 「象図時絵螺鈿象嵌印籠 根付・唐人唐子」「竹虎図時絵印籠 根付・竹に虎」ほか

概要 B : 「至宝の美 ー宋・明・清の陶磁器ー」展

世界に先駆け磁器を焼成した中国は、これを主要な交易品として輸出し、遠くヨーロッパやイスラム諸国、東南アジアの国々、そして日本に優れた作品が多くもたらされました。特に宋から清にかけて焼かれた様々な陶磁器は、日本において茶の湯に取り入れられ、鎌倉期から江戸期に至るまで盛んに招来しました。本展では宋から清にかけての中国陶磁器の優品を展示紹介しました。

展示作品： 「黒釉搔落魚文壺」(宋・11～12世紀初)、「白釉百合口瓶」(宋・12世紀)ほか

### ③ 第3期 「重要文化財 佐竹本三十六歌仙絵「源重之」収蔵記念特別展『歌仙絵と太刀』」展

主催 : 一般財団法人秋水美術館

会場 : 一般財団法人秋水美術館 2・3階鑑賞室

会期 : 2022/4/9(土)～5/15(日)

前期展示：2022/4/9(土)～4/24(日)

後期展示：2022/4/27(水)～5/15(日)

概要 : 鎌倉時代に描かれた貴重な絵巻『佐竹本三十六歌仙絵巻』の一作品である重要文化財『佐竹本三十六歌仙絵 源重之』収蔵を記念する特別展。源重之は、平安時代中期の歌人であると同時に、「帯刀先生<sup>たちはきのせんじょう</sup>」と呼ばれた東宮の護衛部隊の長に就いた経歴を持ち、当館の主要コレクションのひとつである日本刀と縁があります。本展では、本作のお披露目とともに、何世紀もの間、憧憬と親しみを込めて様々に描かれてきた三十六歌仙にまつわる名品や、平安時代から鎌倉時代にかけて作られた名刀を合わせて展示しました。

展示作品： 詞・伝 後京極良経筆／絵・伝藤原信実筆「重要文化財 佐竹本三十六歌仙絵『源重之』」、絵・俵屋宗達／書・本阿弥光悦「重要文化財 鶴図下絵和歌巻」(京都国立博物館所蔵)、鈴木其一「三十六歌仙図屏風」(個人

蔵) ほか

## (2) 他館協力展示

- ① 展覧会名 : 「富山市所蔵作品展」
- 主催 : 富山市企画管理部文化国際課
- 会場 : 秋水美術館 1階イベントルーム
- 会期 : 2021/7/30(金)～ 8/9(月・振休) 開催日数9日間
- 展示作品 : 『網谷喜作 網繕い』ほか計12点

富山市による企画展。市が所蔵する絵画等の美術品を市民に公開して鑑賞機会を設けるため、2017年度から継続して開催されている。ガラス美術館、ギャラリー・ミレー、秋水美術館の三館が同時開催しており、当館では1階イベントルームを一般開放して実施した。来年度以降の協力依頼も届いており、基本的に今後も継続して協力予定である。

## (3) 臨時休館の実施

富山県が2021/8/20(金)付でまん延防止措置を発令したことに従い、2021/8/20(金)～10/19(火)の期間休館した。休館期間には館内の感染対策を再徹底すると同時に、来館動機を高めるべく当初の第2期・第3期の展覧会計画を再編成のうえ、(1)開催した展覧会 ②第2期の内容で展覧会を実施した。

## (4) 入館者数

2021年度は、事業計画当時の想定よりコロナ禍の状況が改善せず、社会的に外出自粛のムードが継続した。当館においても実績入館者数は予想入館者数の約半数であったが、社会情勢や当館の立地・規模を考慮すると、健闘したと言ってよいと考える。とくに「歌仙絵と太刀」展、再編成した第2期の展覧会が好評であった。なお当館の入館者数は、1階受付での実入館数をカウントしている。

期	展覧会名	開館日数	予想入館者数	実績入館者数	1日当り入館者数
—	癒しの美 平山郁夫と現代日本画の巨匠たち展 (前期から継続)	28日 全会期48日	1,800名 会期中3,000名	511名 会期中1,279名	18.2名
1	董寿平と近代日本の水墨画	60日	1,500名	414名	6.9名
2	武士のファッション 印籠と拵の美展 至宝の美展	83日	2,300名	1,270名	15.3名

期	展覧会名	開館日数	予想入館者数	実績入館者数	1日当り 入館者数
3	重要文化財 佐竹本三十六歌仙絵 「源重之」収蔵記念特別展 『歌仙 絵と太刀』展	31日	4,000名	1,974名	65.8名
	合計	202日	9,600名	4,169名	24.1名

## (5) イベントの開催

### 【定期イベント】

#### ●研師・要堺市郎氏による研磨実演

実施日 : 2021/6/12(土), 8/14(土), 12/12(土), 2022/ 2/12(土), 4/17(土)

実施時間 : 10:30~11:30 / 14:00~15:00

実施会場 : 秋水美術館 2階鑑賞室前ロビー

参加者数 : 各回約10名

#### ●当館学芸員によるギャラリートーク

実施日 : 2021/6/13(日), 7/11(日), 8/8(日), 11/14(日), 12/12(日)  
2022/1/9(日), 2/13(日), 4/10(日), 5/15(日)

実施時間 : 14:00~14:45

実施会場 : 秋水美術館

参加者数 : 各回約10名

### 【特別イベント】

#### ●重要文化財 佐竹本三十六歌仙絵「源重之」収蔵記念特別講演会(1)

「美術コレクションと地方貢献」

実施日 : 2022/4/9(土)

実施時間 : 13:30~16:15

実施会場 : 北日本新聞ホール

講演者 : 青柳一規氏 (元文化庁長官、令和3年度文化功労者)

赤尾栄慶氏 (京都国立博物館名誉館員、秋水美術館学芸アドバイザー)

降矢哲男氏 (京都国立博物館 調査・国際連携室長、秋水美術館学芸アドバイザー)

浅地豊氏 (秋水美術館館長)

入場者数 : 約110名 (事前抽選制)

#### ●重要文化財 佐竹本三十六歌仙絵「源重之」収蔵記念特別講演会(2)

「源重之の科学分析結果について」

実施日 : 2022/4/30(土)  
実施時間 : 13:30～15:00  
実施会場 : 秋水美術館 1 階和室研修室「霜華」  
講演者 : 井並 林太郎氏 (京都国立博物館 美術室研究員)  
入場者数 : 約 25 名 (事前抽選制)

#### 4. 展覧会事業 (館外事業)

##### ① 当館受託美術品の館外展示実績

- (1) 展覧会名 : 「令和 3 年度特別展 大加州刀展」  
主催・会場 : 石川県立歴史博物館  
会期 : ①2021/7/24(土)～9/12(日)  
(※コロナ感染拡大により会期中に中止)  
②2022/4/28(木)～6/26(日) ※再度開催  
当館展示作品 : 『刀 無銘 加州真景』『短刀 銘 藤島友重』  
『揃小柄 無銘 加賀象嵌』ほか計 6 点
- (2) 展覧会名 : 特別重要刀剣等指定制度 50 周年記念  
「日本刀・珠玉の名品展」  
主催・会場 : 刀剣博物館 (東京都墨田区)  
会期 : 2021/9/25(土)～12/22(水)  
当館展示作品 : 『太刀 銘 定利』ほか計 4 点

#### 5. 収益事業 (ショップ事業)

新型コロナウイルス感染拡大による休館期間が発生したが、年間を通してみると『歌仙絵と太刀』展の開催によって県外客も増加し、ショップでの商品売行きも来館数に比例して好調であった。今後の県外客の増加、及び海外からのインバウンドに期待したい。

#### 6. 収益事業 (出版事業)

『歌仙絵と太刀』展図録には、京都国立博物館等から拝借した国宝・重要文化財指定作品を画像とともに掲載した。また、京都国立博物館研究員による佐竹本三十六歌仙絵「源重之」の科学分析報告も掲載したため、展覧会の成果としても内容の濃いものとなり、会期中の販売状況も好調であった。

以上